



日本植物分類学会 ニュースレター

No. 98

Aug 2025

目 次

- お知らせ
 - 2025 年度日本植物分類学会講演会のお知らせ 2
 - 第 25 回 (2026 年度) 日本植物分類学会賞
(学会賞および奨励賞) の受賞候補者の募集 2
 - 東アジア国際植物分類学シンポジウム 2025 のご案内 3
 - 2025 年度日本植物分類学会野外研修会のお知らせ 3
- 2024 年に到着した交換図書一覧 4
- 植物関連雑誌のタイトル紹介 4
- 会員消息 8

お知らせ

2025 年度日本植物分類学会講演会のお知らせ

講演会担当 横川 昌史

2025 年度の日本植物分類学会講演会は、大阪学院大学の林一彦先生にお世話いただき、ハイブリッド（大阪学院大学の現地会場とオンライン配信）での開催に向けて準備を進めております。講演会後は懇親会も開催予定です。皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。なお、日本植物分類学会非会員の方でもご参加いただけます。

詳細につきましては、次号のニュースレターでご案内いたします。

日時 : 2025 年 12 月 13 日 (土) 午前 10 時～午後 5 時

講演会場 : 大阪学院大学 2 号館地下 1 階 2 号教室 (02-B1-02 教室)

〒 564-8511 大阪府吹田市岸部南 2 丁目 36 番 1 号 (電話 : 06-6381-8434)

講演スケジュールと演題 (予定)

10:00-10:10 ご挨拶 永益 英敏 (会長)

10:10-11:00 若林 智美 (奈良先端科学技術大学院大学)

「雑草だけど面白い！日本のミヤコグサの多様性と適応進化の仕組みに迫る」

11:00-11:50 吉川 徹朗 (大阪公立大学) 「多様で柔軟な植物の種子散布のあり方」

(11:50-13:20 昼食)

13:20-14:10 西畑 和輝 (兵庫県立人と自然の博物館) 「日本産カタシロゴケ科の分類学的研究」

14:10-15:00 厚井 聡 (大阪公立大学) 「カワゴケソウ科植物の生態と進化」

(15:00-15:10 休憩)

15:10-16:00 西野 貴子 (大阪公立大学) 「昨日の敵は今日の友ーサワシロギクの内生菌と蛇紋岩適応ー」

16:00-16:50 川窪 伸光 (岐阜大学) 「花は、なぜ美しいのか？送粉者でない私が花に惹かれる理由を考える」

16:50-17:00 ご挨拶 林 一彦

第 25 回 (2026 年度) 日本植物分類学会賞 (学会賞および奨励賞) の受賞候補者の募集

日本植物分類学会会長 永益 英敏

学会賞選考委員長 梶田 忠

以下の 2 つの賞の受賞候補者を募集します。候補者は、学会賞選考規定第 2 条に基づき、以下に該当する方です。自薦、他薦を問わず、会員の皆様の積極的な応募・推薦を期待しております。これまでの受賞者名等は、学会ホームページをご参照ください。

日本植物分類学会賞：植物分類学および日本植物分類学会の発展に特に顕著な貢献が認められた者に授与する。受賞者の資格は、10 年以上継続して本会会員である者とする。

日本植物分類学会奨励賞：受賞年の 4 月 1 日において満 38 歳以下で、優れた研究業績をあげた将来有望な研究者 (学生を含む) に授与する。受賞者の資格は、3 年以上連続して本会会員であり、主要な研究業績の一部を本会の大会または雑誌に発表している者とする。

募集要領

他薦の場合は、推薦する候補者の氏名と推薦理由、どちらの賞に推薦するかをお知らせください。自薦の場合は (1) どちらの賞への応募か (2) ご自分の研究全体に関するタイトル (3) 略歴 (生年月日、学歴、職歴など) (4) 調査・業績の概要 (5) 業績リスト (論文、著書など) と本学会の大会での発表記録をワードファイル、あるいは A4 用紙に記入して (書式は自由) お送りください。自薦、他薦を問わず、さらに必要な資料があれば、学会賞選考委員会から候補者の方に提出を依頼します。応募は、e-mail でのファイル添付、または郵便でお願いします。

書類送付先 : 〒 907-1541 沖縄県八重山郡竹富町字上原 870 琉球大学熱帯生物圏研究センター 西表研究施設

梶田 忠 宛 e-mail: tkaji@cs.u-ryukyu.ac.jp

応募締切日 : 令和 7 年 9 月 30 日 (火)

その他 : 両賞の受賞者は、令和 8 年 3 月の日本植物分類学会第 25 回大会において表彰されます。

また、同大会において受賞講演を行っていただくことを原則としております。

東アジア国際植物分類学シンポジウム 2025 のご案内

国際シンポジウム準備委員長 池田 博

日中韓を中心とする国際植物分類学シンポジウムを、今年 12 月に中国・雲南省昆明市 (Kunming) で開催いたします。エキスカッションも開催される予定です。このシンポジウムは国際会議にも位置づけられるものですので、特に若手の会員の方にとっては研究業績を加える良い機会にもなります。会員の方々の積極的なご参加をお待ちしています。

詳しい日程・会場等については、現在検討中です。詳細が分かり次第、次号のニュースレターまたは学会メーリングリストあるいはホームページでお知らせしたいと思います。

ご質問等ありましたら、池田までご連絡ください。

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学総合研究博物館 池田 博 Tel: 03-5841-2839

E-mail: h_ikeda(a)um.u-tokyo.ac.jp ※ (a) を @ (アットマーク) に変更してお送りください。

2025 年度日本植物分類学会野外研修会のお知らせ

野外研修会担当 根本秀一

鳥取県立博物館の清末幸久さんのご協力で、11 月 8 日 (土) に鳥取県岩美町浦富海岸および唐川湿原などでの植物観察を予定しています (植物の開花状況で場所変更の場合があります)。翌 11 月 9 日 (日) は希望者を対象に鳥取県立博物館の常設展示と植物収蔵庫を見学します。

【11 月 8 日 (土)】

午前 岩美町浦富海岸

日本海に面しており、砂浜とリアス式の岩礁地があります。ワサハマギク、ハマベノギク、ハマゴウなどの海浜植物が観察できます。

集合：9 時頃、JR 山陰線岩美駅集合。列車では鳥取発 8:11、岩見着 8:37 着になります。自動車で分乗して浦富海岸 (城原海岸県営駐車場) に向います。

午後 岩美町唐川湿原周辺

標高約 400m の谷間にできた湿原で、国の天然記念物です。現在、日照不足やシカの食害などの対策として周辺の樹木伐採や防鹿柵の設置など保全活動が行われています。時期はずれていますが、カキツバタが有名で、サワギキョウ、モウセンゴケなどの湿地植物のほか、クロバナヒキオコシ、サンインヒキオコシなど日本海側に特徴的な花も見られるでしょう。

【11 月 9 日 (日)】 鳥取県立博物館

<https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/> (希望者のみ)

9 時 30 分に博物館入口に集合。常設展と開催中の企画展を案内し、その後自由に館内見学となります。

※入館料 180 円が必要となります。鳥取城址のある久松公園に隣接しており、植物観察などの散策ができます。

【宿泊】必要な方は参加者自身でご予約下さい。岩美駅周辺はホテルが少ないので、鳥取駅周辺が便利です。

【参加費】3,000 円程度 11 月 8 日集合時徴収

内訳：自動車代 (有料道路通行料込み)、保険代

・ご自宅から岩美駅までの往復交通費、宿泊代、オプションの鳥取県立博物館までの交通費は個人負担です。

・鳥取県立博物館のみ希望の方はご相談ください。

【募集人数】20 名程度 (会員を優先しますが、会員外の参加も可能です)

【申込み先】申込フォーム (<https://forms.gle/Xtz8xKUdLPM6q7Kg7>)

郵便：〒309-1626 茨城県笠間市下市毛 1370-1 根本秀一宛

郵便でお申し込みの際は、緊急時にご連絡できる電話番号、生年月日 (保険に使用します)、

ご希望の参加日程をお知らせください。

・ご連絡いただいてから 3 日程度で受付の返信をいたします (郵便の場合にはお電話を差し上げます)。万が一返信等がない場合には、恐れ入りますが再度ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ等は窓口の根本秀一 (メール: kemushikusa@gmail.com TEL: 090-7563-0342) 宛にお願いいたします。



【その他】

- ・前日 11 月 7 日 (金) の夜、18 時から鳥取駅周辺で、自由参加による懇親会を計画しています。
観察会申し込み時に併せてお申し込み下さい。詳細は人数確定後にご連絡いたします。

【申し込み〆切】10 月 19 日 (日)

2024 年に到着した交換図書一覧

図書幹事 李 忠建

Aliso 42(1-2)
Bauhinia 29
Boissiera 47
Bulletin mensuel de la Société d'Histoire Naturelle de Toulouse 159
Candollea 78(2), 79(1)
Fritschiana 101
Gardenwise 63
Hoppea 83
Journal of Plant Research (植物学雑誌) 137(1), 137(2), 137(3), 137(4), 137(5)
Kew Bulletin 79(1), 79(2), 79(3), 79(4)
Korean Journal of Plant Taxonomy 53(4), 54(1), 54(2), 54(3)
Newsletter of Himalayan Botany 53
Plant Diversity 45(5), 45(6), 46(1), 46(2), 46(3), 46(4)
Plant Ecology & Diversity 16(1-2), 16(3-4), 16(5-6)
Revue Valdôtaine d'Histoire Naturelle 77
Smithsonian Contributions to Botany 118
Thaiszia Journal of Botany 33(1), 33(2)
The Gardens' Bulletin Singapore 76(1)
Willdenowia 53(3), 54(1)
生命世界 399
大自然 235, 236, 237, 238, 239, 240
國立臺灣博物館學刊 77(2), 77(4)
大阪市立自然史博物館研究報告 77
大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 54
自然史研究 4(7)
神奈川県植物誌調査会ニュース 93, 94
国立科学博物館研究報告 49(3), 49(4), 50(1), 50(2)
徳島県立博物館研究報告 34
植物研究雑誌 99(1), 99(2), 99(3), 99(4), 99(5)
蘚苔類研究 13(2), 13(3)
岐阜県植物研究会誌 38
近畿植物同好会々誌 47
近畿植物同好会会報 138

植物関連雑誌のタイトル紹介

富山県中央植物園 中田政司

○帯広百年記念館紀要

〒080-0846 帯広市緑ヶ丘 2 番地 帯広百年記念館

https://museum-obihiro.jp/occm/?page_id=20

第 41 号 2023 年 3 月—伊東捷夫・佐藤 清・安田勝則・鈴木勝利・安藤 弘・伊東多美子・小野瀬幸次・井口 實・進藤晶子：
幕別町・途別川右岸・南六線（吐月橋）～南九線間の植物／若原正博・川内和博：当縁湿原西部の植物
第 42 号 2024 年 3 月—丹羽真一・渡辺 修・渡辺展之・宮崎直美・伊藤育子・三日市則昭・池田亨嘉・佐藤雅俊：帯広の森
における植栽林の構造と 17 年間の変化／日月 伸：柏林台にカシワ林はあったのか？—多角的な資料検証による過去の植生推定の試み—
第 43 号 2025 年 3 月—日月 伸：年輪から読み取った芽室公園周辺のカシワ樹林の来歴／伊東捷夫・佐藤 清・安田勝則・鈴木勝利・
安藤 弘・伊東多美子・小野瀬幸次・井口 實・進藤晶子：帯広市川西・売買川右岸（南十線～南十四線）の植物

○秋田自然史研究

〒010-0873 秋田市千秋城下町 8-18 田中政行方 秋田自然史研究会

<http://akita-nathist.o.oo7.jp/mokuji.htm>

第 82 号 2025 年 1 月—沓沢周弘：クロホシサ秋田県に産す／猿田 基：秋田県米代川におけるオオフサモの発見と現状／高田 順：秋田県産ヨモギ属の検討 (10) —フロア記録—／菊地卓弥：秋田県新産の帰化植物—オクシモハギ／阿部裕紀子・藤原陸夫：秋田県産のメダケ (タケ亜科) について／阿部裕紀子：秋田県新産の帰化植物 (2) ／沖田貞敏：秋田県のスズムシソウ類 (ラン科) について／沖田貞敏：秋田県植物分布資料 (17) ヒメコウガイゼキショウ, アカネムグラ, セイヨウツボグサ／遠藤達也：森吉山ダムにおける希少種クダスゲの秋田県初記録

○群馬県立自然史博物館研究報告

〒 370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1 群馬県立自然史博物館

<https://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/no29/>

第 29 号 2025 年 3 月—中村 肇：ミチバタナデシコ *Petrorhagia nanteuillii* (ナデシコ科) の群馬県からの初記録

○茨城県自然博物館研究報告

〒 306-0622 茨城県坂東市大崎 700 ミュージアムパーク茨城県自然博物館

<https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/materials/research/report/7804>

第 27 号 2024 年 12 月—伊藤彩乃・松木 礼・川田清和・小幡和男・矢野徳也・西廣 淳：茨城県稲敷市の茅場跡の湿生植物群落の植物相と種組成／鈴木亮輔・小幡和男・岡 利雄：茨城県におけるナチシダの新産地と冬季の生育状況

○埼玉県立自然の博物館研究報告

〒 369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬 1417-1 埼玉県立自然の博物館

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/smnh/19/0/_contents/-char/ja

第 19 号 2025 年 3 月—岡本知実・飯田作穂・手塚征守：埼玉県伊奈町の都市近郊施設における植物目録

○小笠原研究年報

〒 192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 東京都立大学 小笠原研究委員会

https://www.comp.tmu.ac.jp/ogasawara/annual_report.html

第 47 号 2023 年 5 月—井鷲裕司・辻本大地：ゲノムの健全性に基づく小笠原保護増殖事業対象種の保全／瀬戸口浩彰・葉山佳代・茂木雄二：母島固有の絶滅危惧植物種タイウフウトウカズラの生息域外保全～桑ノ木山での保全の経緯と将来に向けて／川北篤・武田和也・望月 昂・田村ゆり・砂川勇太・宮本 通：小笠原諸島固有植物の送粉者 (予報) ／武田和也・田村ゆり・川北 篤：食害防止網内のコハラナレンにみられた飛翔性訪花昆虫の欠落／望月 昂・武田和也：妹島のシロガネラクサについて

○神奈川県立博物館研究報告 自然科学

〒 250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地球博物館

<https://nh.kanagawa-museum.jp/www/contents/1739674231268/index.html>

第 54 号 2025 年 3 月—田中徳久・村上雄秀・鈴木伸一・中村幸人：キハギクラスに所属する植物社会学的な植生単位のタイプ指定／田中徳久・アリサ グラボスカヤ・ポロディナ・勝山輝男・福田知子・大西 亘：コマロフ植物研究所の神奈川県産被子植物 (双子葉類) の基準標本と関連標本 (英文)

○神奈川県立自然誌資料

〒 250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地球博物館

<https://nh.kanagawa-museum.jp/www/contents/1706848520162/index.html> (41 号より完全オンライン版化)

第 46 号 2025 年 3 月—小嶋紀行：大磯丘陵におけるモクレシンの繁殖特性

○横須賀市博物館研究報告 (自然科学)

〒 238-0016 横須賀市深田台 95 横須賀市自然・人文博物館

[https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/publication?view= 研究報告 \(自然科学\)](https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/publication?view= 研究報告 (自然科学))

第 72 号 2025 年 3 月—高橋昭善・山本 薫：天神島における海藻相と海水温度との関係

○山梨植物研究

〒 400-0049 山梨県甲府市富竹 4 丁目 8-36 小西方 山梨県植物研究会

第 37 号 2024 年 4 月—望月一：身延町におけるツメレンゲ群落の生育確認について／小林富一郎：中央市の水田 (落水状態) にミゾハコとキカシグサを記録する／菰原 桂：北杜市・韮崎市のため池における「ヒシ」に関する報告／菰原 桂：令和 5 年度の山梨県レッドデータブック掲載種 (植物) に関する調査報告／小林富一郎：イワシャジンとホウオウシャジンについて

○富山県中央植物園研究報告

〒 939-2713 富山県富山市婦中町上善田 42 富山県中央植物園

https://www.bgtym.org/_wp/wp-content/uploads/2025/06/62f6d83d7e791cc755a3dcdcfcb4fdc7.pdf

第 30 号 2025 年 3 月—兼本 正：日本産カテンソウとヤエヤマカテンソウ (イラクサ科) の染色体数 (英文) ／吉田めぐみ：立山—ノ越におけるタテヤマキンバイとその周囲の植物への訪花昆虫／吉田めぐみ・和久井彬実：立山浄土山におけるタテヤマキンバイの新産地追録と県レッドリスト 2025 におけるカテゴリ評価／兼本 正：沖縄島産ハドノキ (イラクサ科) の染色体数 (英文) ／早瀬裕也・若杉美仁・石澤岩央：富山県新産のエンシュウムヨウラン／高橋一臣：エチゴメダケの葉の表皮構造／和久井彬実：同一条件下で栽培した倍数性の異なるコケモモ 2 タイプの形態変異／志内利明：中国雲南省から導入したニジカケバナの発芽特性と種子保存／早瀬裕也：富山県中央植物園の保有するサクラ栽培品種の挿し木増殖法の検討 1: ‘越の冬桜’ (コシノフユザクラ) とマメザクラ ‘さきがけ’ の緑枝挿し／早瀬裕也：富山県中央植物園の保有するサクラ栽培品種の挿し木増殖法の検討 2: ‘伊加流伎白八重’ (イカルギシロヤエ) のひこばえによる挿し木事例／西村幸芳：展示温室におけるハダコと導入天敵の発生消長／東 義詔・川住清貴・川窪伸光・中田政司：植物園で栽培される水生植物の実践的な撮影技術：水槽内のヤマトウミヒルモの成長過程の長期記録とスプタの種子の水中形態

○富山の生物

〒 937-0857 魚津市三ヶ 1390 魚津水族館内 富山県生物学会

<https://note.com/toyamaseibutu/>

第 64 号 2025 年 3 月—福田 剛・福田有希子・佐藤 卓・松村 勉・金子靖志・氷見栄成：布施川流域の森林構造／長井幸雄：小白木峰の維管束植物相／杉田久志・大宮 徹・相浦英春・佐藤 卓：富山県西部飛騨高地、利賀川源流域におけるオオシラビソの分布と林分構造／佐藤 卓・佐藤邦子：富山県魚津市大谷コナラ林の森林構造と 15 年間のリタートラップ調査結果／佐藤 卓：2024 年全国ブナ結実状況

○石川県白山自然保護センター研究報告

〒 920-2326 石川県白山市木滑ヌ 4 石川県白山自然保護センター

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/publish/report/report_all2.html#a51-

第 51 集 2024 年 12 月—岩本華奈・近藤 崇・野上達也・奥名正啓：石川県のブナ科樹木 3 種の結実予測とツキノワグマの出没状況, 2024 / 岩本華奈・近藤 崇：白山弥陀ヶ原における雪田植生回復のためのチマザサ管理手法の開発 1. ササ群落高の違いによる植生の違いおよび刈り取りの試行

○石川県立自然史資料館研究報告

〒 920-1147 石川県金沢市銚子町 441 石川県立自然史資料館

https://www.n-muse-ishikawa.or.jp/?page_id=5384

第 12 号 2024 年 3 月—中野真理子：石川県における絶滅危惧種カザグルマの現状／中野真理子：新規標本に基づく石川県新産のエンシュウムヨウラン, ウスギムヨウラン, イナヒロハテンナンショウについて

第 13 号 2025 年 3 月—中山博史：ウスギムヨウラン, エンシュウムヨウランの石川県新産地と生態的特徴／澤田志乃・三木まどか・青木 陸・北村俊平・中野真理子：石川県手取川天狗壁川原の植物目録

○福井市自然史博物館研究報告

〒 918-8006 福井県福井市足羽上町 147 福井市自然史博物館

<http://www.nature.museum.city.fukui.fukui.jp/shuppan/kenpou/kenpou.html>

第 71 号 2024 年 12 月—榎本博之・森下智晴：福井県で初めて発見されたシロミノヘビイチゴ (*Potentilla hebiichigo* f. *leucocephala* (Makino) Yonek. et H.Ohashi) の生育地と栽培地での個体数推移の記録 (2015-2024)

○鳳来寺山自然科学博物館館報

〒 441-1944 愛知県新城市門谷字森脇 6 鳳来寺山自然科学博物館

第 54 号 2025 年 1 月—中西 正：田之土里湿原—17 年間の植生変化 (1) 群落の変化／天本匡有：鳥居喜一寄贈藓苔類標本の新城市産タイ類 2 種について

○ため池の自然

〒 448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学教育学部社会科教育講座 富田啓介宛 ため池の自然研究会

<https://tameike.site/journal60.html> (1 号～ 59 号)

第 65 号 2024 年 12 月—高橋祐輔：五色園湿地 観察記録から／高橋祐輔：五色園三ツ池の生き物たち／中西 正：多米ビオトープのモニタリング 5—25 年間の植生変化—

○南紀生物

〒 646-0005 和歌山県田辺市秋津町 965 土永浩史方 南紀生物同好会会誌編集部

<https://nankiseibutu.jp/mokuji.html>

第 66 巻第 2 号 2024 年 12 月—土永知子・末次健司：南方熊楠によって採取され東京大学総合研究博物館に保管されている菌従属栄養植物に対する熊楠の認識とその実態の解明／山本好和・坂東 誠・高萩敏和・河合正人・三輪実起：滋賀県大津市坂本の地衣類／山本誠二・土永浩史：紀伊半島南部で新たに見つかったホンゴウソウ／山本好和・盛口 満：沖縄県南大東島の地衣類／山本好和・土屋信之：東京都産の興味ある地衣類Ⅲ

第 67 巻第 1 号 2025 年 6 月—土永浩史・後藤岳志：和歌山県新産地衣類スレモドキ／山本好和・畑中幸次郎・中村康則・鹿野雄一：熊本県産の興味ある地衣類Ⅰ／土永浩史・山本誠二・秋山弘之：紀伊半島産の興味ある藓苔類Ⅶ／山本好和・阿部ちひろ・伊東真那実・綿貫 攻・草間裕子・高橋奏恵・川上寛子・原 光二郎・小峰正史：秋田県仙北市田沢湖畔の地衣類／馬場将輔：大分県新産のホソエガサ (緑藻, カサノリ科)／山本好和・盛口 満：鹿児島県沖永良部島の地衣類

○和歌山県立自然博物館館報

〒 642-0001 和歌山県海南市船尾 370-1 和歌山県立自然博物館

第 42 号 2024 年 9 月—内藤麻子：和歌山県産野生植物分布資料 (6)

○奈良植物研究

〒 633-8529 奈良県奈良市高畑町 奈良教育大学 辻野研究室気付 奈良植物研究会

[https://docs.google.com/spreadsheets/d/1UgKhcpQTW-1V6MVnnIInMzt7Ssoxkmch/](https://docs.google.com/spreadsheets/d/1UgKhcpQTW-1V6MVnnIInMzt7Ssoxkmch/edit?gid=592361828#gid=592361828)

(会誌・会報記載植物名インデックス (第 2 版:1977 ~ 2022))

第 45 号 2024 年 9 月—織田二郎：標本で見る日本のガンビ属／豊田和彦：葛城山に生育するスズミシバのふえ方／富永明良：奈良県のコケキンソウ *Soliva stolonifera* / 富永明良：ガクナンとオオミヤマズラ／酒井有紀：ヒナノシャクジョウ (春日山原始林)

○近畿植物同好会々誌

〒 639-0254 奈良県香芝市関屋北 5-5-21 織田二郎方 近畿植物同好会

http://kinshoku.eco.coocan.jp/kaisi_zaiiko.html (近畿植物同好会会誌 在庫表)

第 48 号 2025 年 1 月—山住一郎・西村徹也・中野潤子：トサノミツバツツジについて (6)／織田二郎：オオイトスゲ (シロイトスゲ) とチャイトスゲ及びキイトスゲの判別形質と分布／村瀬ますみ：ホシケチドメグサの種子は鳥と風によっても運ばれる？／富永明良：ホソバハタデについて／山住一郎：金剛山植物目録補遺 (4)

○大阪市立自然史博物館研究報告

〒 546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館

https://omnh.repo.nii.ac.jp/search?page=1&size=20&sort=-pyear&search_type=2&q=1742620778325

第 79 号 2024 年 3 月—三浦勝美・久米 修・鳴橋直弘：バラ科キイチゴ属の 1 新帰化植物：ブラックベリー・トリプル クラウン／加山 基・井村綾子・谷村 文・石井健一郎・松岡数充：緑藻類 *Pediastrum biwae* に対する新組み合わせ *Monactinus biwaensis* の形態、分子系統、無性生殖過程の特徴

○倉敷市立自然史博物館研究報告

〒 710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1 倉敷市立自然史博物館

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/38509.htm#no38>

第 40 号 2025 年 3 月—鐵 慎太郎：オオマルバノホロシ *Solanum megacarpum* Koidz. (ナス科) を岡山県から記録／鐵 慎太郎・片岡博行：帰化植物チョウセンキハギ *Lespedeza maximowiczii* C.K.Schneid. とハナハギ *Campylotropis macrocarpa* (Bunge) Rehder (マメ科) を岡山県から記録

○広島市植物公園紀要

〒 731-5156 広島市佐伯区倉重 3-495 広島市植物公園

<http://www.hiroshima-bot.jp/about/kiyo/>

第 37 号 2025 年 3 月—堀川大輔・高井敦雄・泉川康博・山本昌生：国内最大のオーストラリアオバブの導入および栽培管理／井上尚子・久藤広志：広島県フドウ覚書 (12) ハマボウ *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc. (アオイ科) の広島県における分布新記録／山本晃弘・濱谷修一：広島県産エゾヒメクラマゴケ *Selaginella helvetica* (L.) Spring (イワヒバ科) の染色体観察

○比婆科学

〒 729-3511 広島県神石郡神石高原町高光 3054 秋山美文方 比婆科学教育振興会

第 276 号 2023 年 6 月—竹下 彰：安芸高田市でトウゴクヘラオモダガを確認

第 277 号 2023 年 12 月—西岡秀樹：ツルツゲ、ケヤマツツボの植物標本確認

第 278 号 2024 年 6 月—竹下 彰：安芸高田市でマルミスバを確認

第 279 号 2024 年 12 月—竹下 彰：広島市域でアズマイチゲの現存を確認

○島根県立三瓶自然館研究報告

〒 694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8 島根県立三瓶自然館

<https://www.nature-sanbe.jp/sahimel/study/publication.html>

第 22 号 2024 年 3 月—須貝杏子・小野雄輔：松江市における外来植物ナガヒナゲシの分布状況／渡津友博・桑原一司・大野芳典・井上雅仁：島根県邑南町水明湿地の植生と植物相／井上雅仁・三島秀夫・立花寛奈・深谷 治・楊 寛明・齋藤祐樹・野辺一寛：特定外来生物オオキンケイギクの隠岐諸島における分布と 10 年間の変化／柳浦正夫・矢田貝繁明・井上雅仁：中国地方のウスバサイシン節の分布とイズモサイシンとウスバサイシンとの形態比較／柴田一樹・柳浦正夫・井上雅仁：島根県江津市で確認されたフジキについて 第 23 号 2025 年 3 月—桑原一司・伊東明洋・岡 里美・白石寛美・平川 進・大久保光機・大野芳典・佐々木義彦：島根県邑南町における水明湿地再生の試み／井上雅仁：島根県自然環境保全地域「赤名湿地性植物群落」の植生と植物相／井上雅仁・柳浦正夫・丹後亜興：島根県隠岐諸島の島前地区で確認されたオナモミ

○ホシザキグリーン財団研究報告

〒 691-0076 島根県出雲市園町 1664-2 ホシザキグリーン財団

<https://www.green-f.or.jp/kenhou.html#kenhounew>

第 26 号 2023 年 3 月—三浦憲人：島根県産植物の染色体観察記録 (8)

第 27 号 2024 年 3 月—三浦憲人：島根県産植物の染色体観察記録 (9)

第 28 号 2025 年 3 月—三浦憲人：島根県産植物の染色体観察記録 (10)

○ホシザキグリーン財団研究報告特別号

〒 691-0076 島根県出雲市園町 1664-2 ホシザキグリーン財団

<https://www.green-f.or.jp/kenhoutoku.html>

第 31 号 2022 年 2 月—三浦憲人：ふるさと尺の内公園人工池にて栽培・系統維持しているオニバスの種子の発芽率と形態計測／三浦憲人・森定 伸・岡井陽平：島根県雲南市水次町ふるさと尺の内公園における植物相調査 (2019)／三浦憲人・森定 伸・岡井陽平・大嶋悠也：島根県雲南市水次町ふるさと尺の内公園におけるゴドラート調査 (2020 年)／三浦憲人：オニバス関連文献リスト 第 33 号 2024 年 2 月—三浦憲人：宍道湖グリーンパークの樹木 常緑樹／三浦憲人：宍道湖グリーンパークの植栽木の染色体観察記録

○徳島県立博物館研究報告

〒 770-8070 徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館

<https://museum.bunmori.tokushima.jp/kiyo.html>

第 35 号 2025 年 3 月—小川 誠：紫外線を使った生物写真の撮影方法／茨木 靖・高杉茂雄・佐賀康男・佐賀喜代子・木下 覺・久米 修・大井・東馬哲雄・小川 誠：四国のニシキゴロモ類とその変異／茨木 靖：徳島県から新たに発見された外来イネ科植物，カモハシガヤ *Bothriochloa ischaemum* (L.) Keng (Poaceae)／茨木 靖・崔 仁洙・木下 覺・伊藤 優・小川 誠・小亀とも子：韓国におけるナルトオウギ *Astragalus sikokianus* の生育環境 (英文)

